

設 立 趣 旨 書

1. 目的

春日山原始林を未来へつなぐ会（以下、本会）は、特別天然記念物春日山原始林の管理主体である奈良県と連携し、貴重な照葉樹林で世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産である春日山原始林を未来世代へ守り育てることに寄与することを目的としています。

2. 趣旨

春日山は、承和8年（841）の勅命により神山として狩猟伐採が禁じられるなど、近世以前から大切に守られてきました。このため、今日まで、原生的な状態を維持する貴重な照葉樹林として特別天然記念物に指定され、また、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産にも位置づけられるなど、私たち奈良県民が世界に誇る財産であるといえます。

しかしながら、近年、様々な研究者が指摘しているように、シカとの共生、後継樹や下層植生の衰退、ナラ枯れ被害の拡大、ナンキンハゼやナギの侵入など、原始林は様々な課題に直面し、その原生的な状態を維持していくことが非常に難しい状況にあります。このことは、観察会など、私たちが実際に原始林に接する機会においても、子どものころから慣れ親しんだ原始林が、刻一刻とその様相を変えていってしまっている危機的状況を痛感しているところでもあります。このままでは、私たちの子どもへ、世界に誇る春日山原始林を引き継いでいくことが難しいのではと考えています。

そこで、私たちは、管理主体である奈良県、春日山原始林の保全再生の全体計画を検討する有識者委員会と協働し、春日山原始林の保全再生に係る担い手として以下の6つの事業に取り組み、私たちの子どもたち、さらにはその子どもたちへと、春日山原始林を未来へつないでいくことを願い、本会を設立しました。

■本会の事業

- (1) 春日山原始林の保全再生に係る調査・研究及び広報に関する事業
- (2) 春日山原始林の保全再生に係る実作業の実施に関する事業
- (3) 春日山原始林の保全再生に係る普及啓発及び教育に関する事業
- (4) 春日山原始林の保全再生への参画を支援する事業
- (5) 春日山原始林の保全再生に係る行政機関、研究機関、教育機関、学会等と交流する事業
- (6) その他本会の目的達成のために必要な事業

3. 設立に至るまでの経緯

- ・春日山原始林の保全再生に寄与することを目的に、春日山原始林市民連絡会、グリーンあすなら（巨樹巨木の会）、NPO法人奈良ストップ温暖化の会が連携して設立準備会を平成26年2月21日に立ち上げ。
- ・設立準備会を、平成26年4月8日、4月21日、7月7日に開催。
- ・平成26年7月31日に、春日山原始林を未来へつなぐ会設立総会を開催し、同日に設立。

2014年7月31日

春日山原始林を未来へつなぐ会
設立準備会

岡野恵子（NPO法人奈良ストップ温暖化の会）
甲斐野幸一（グリーンあすなら（巨樹巨木の会））
川瀬 浩（春日山原始林市民連絡会）

酒井二郎（グリーンあすなら（巨樹巨木の会））
杉山拓次（NPO法人奈良ストップ温暖化の会）
高橋 円（春日山原始林市民連絡会）
坪井 都子（春日山原始林市民連絡会）
遊津隆義（NPO法人奈良ストップ温暖化の会）
由良行基周（春日山原始林市民連絡会）
吉川 浩（グリーンあすなら（巨樹巨木の会））